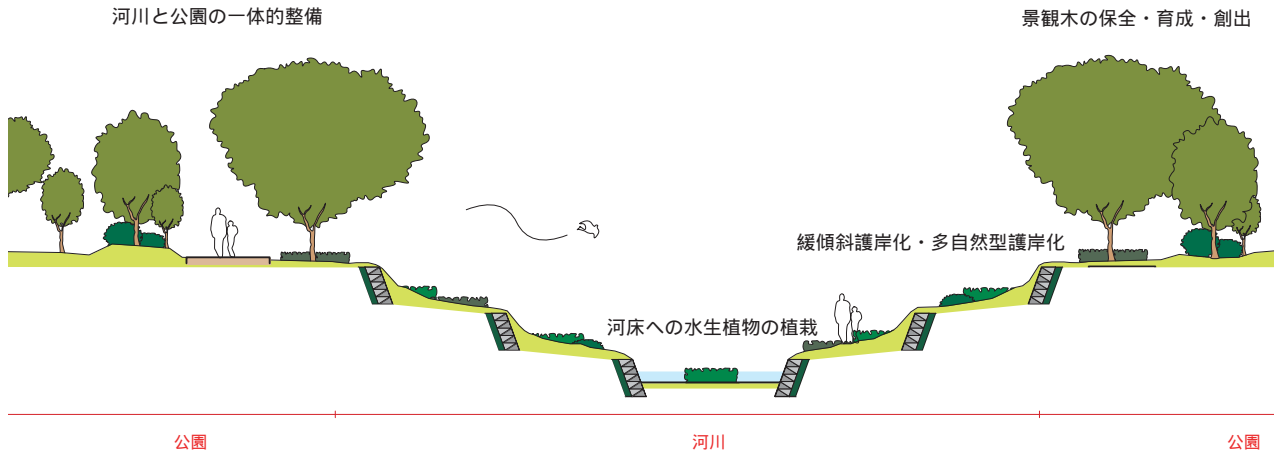


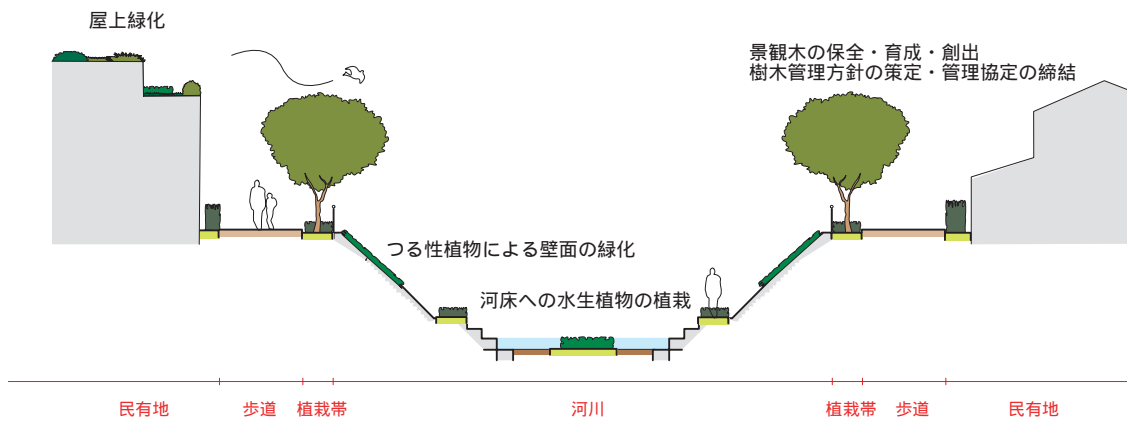
(4) 骨格となるみどりのベルト形成イメージ

河川沿い

①公園と一体的な整備が可能な地域



②ある程度の幅員が確保できる地域



③幅員の確保が難しい地域

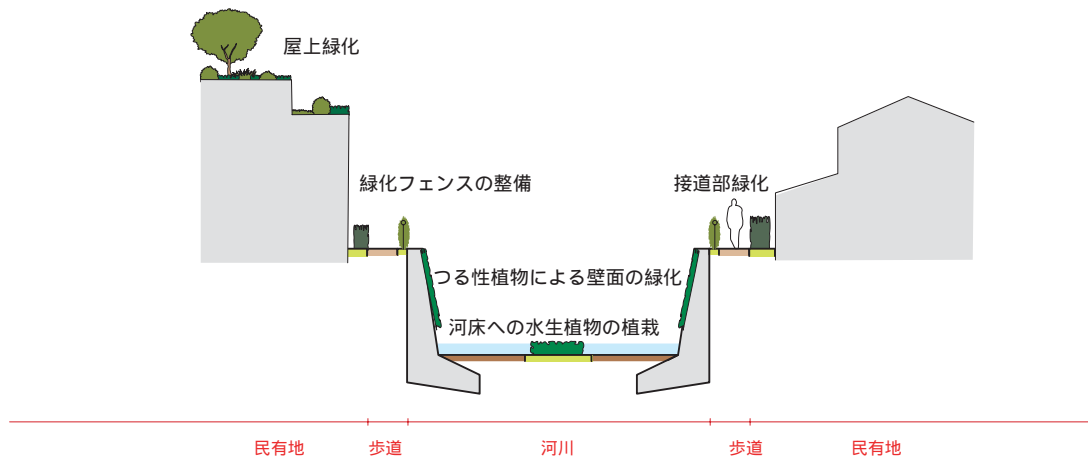
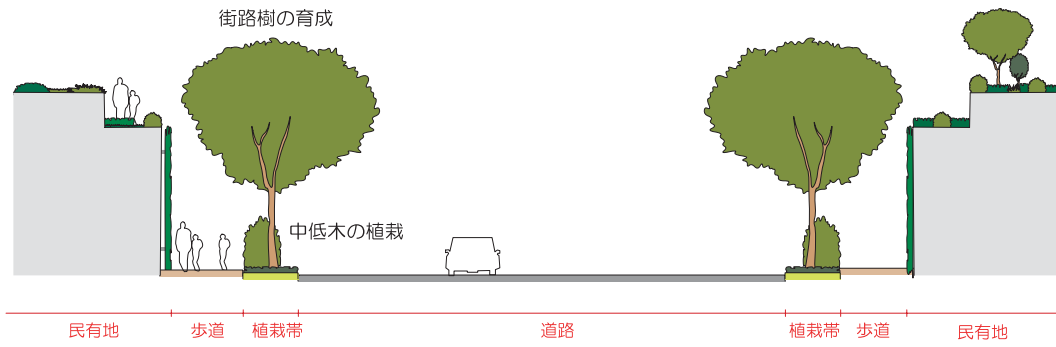


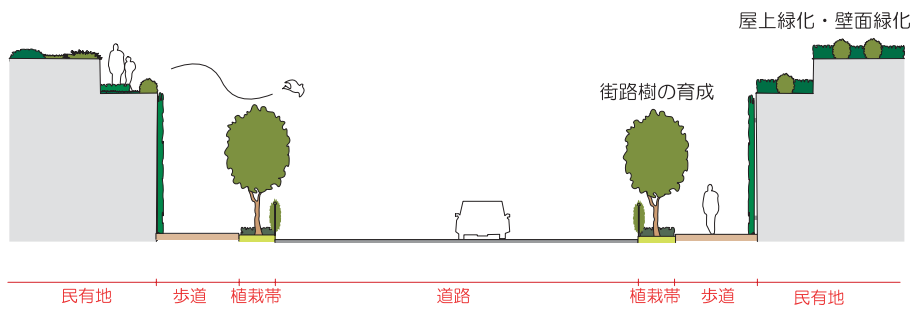
図-4 骨格となるみどりのベルトの形成イメージ(河川沿い)

幹線道路

①都道



②区道



歩行者専用道等

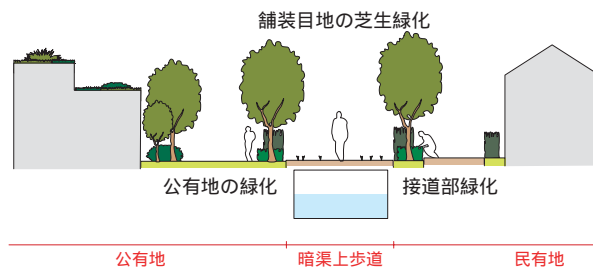
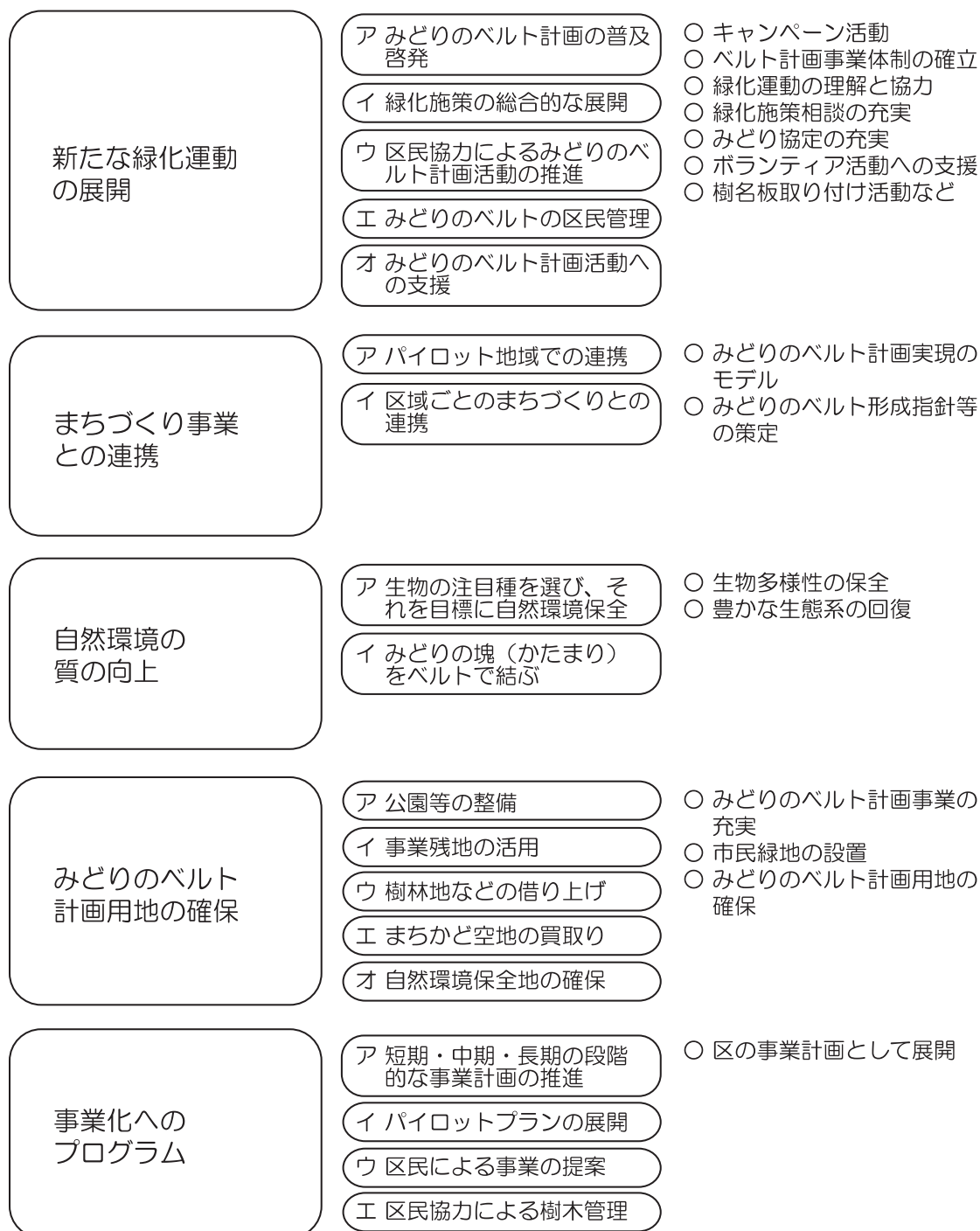


図-5 骨格となるみどりのベルトの形成イメージ（幹線道路・歩行者専用道等）

2) みどりのベルト計画推進の方策

みどりのベルト計画を進めるためには、区民、事業者、区の三者が協力してさまざまなみどりのベルトを守り、育て、造っていく必要があります。また、日照や見通しを悪くするようなみどりがもたらす問題も出てきます。そのため、ご近所同士で、みどりが持つ問題性を十分に話し合い理解しあって適正な管理に努め、みどりのベルトを次の世代に引き継ぐ杉並の財産として、区民全員で協力して取り組むことが必要です。このことを踏まえた上で、みどりのベルト計画の推進に向けた方策を整理しました。



3) みどりのベルト計画を支える制度の充実

みどりのベルト計画を支える仕組みづくりは、その実現のために重要な役割を持っています。特に、この計画が新しい緑化運動として広く区民の理解と協力を得て、活発な活動として広がりをを見せていくためには、みどりのベルト計画を支える制度を整える必要があります。ここでは、そのための主な課題を挙げています

